

事業番号	01 03 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	地域防災力充実事業	部局	危機管理部	課・室	危機管理防災課	
		実施期間	S38 ~	E-mail	bosai@pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

・近年、気候変動の影響により気象災害が激甚化・頻発化しているが、住民一人ひとりの「自らの命は自らが守る」意識は十分に定着していない。
 ・このため、「自らの命は自らが守る」意識の醸成や、適時適切な避難を促す仕組みづくりを推進し、逃げ遅れゼロの実現を目指すため、様々な取り組みを実施しているが、引き続き、粘り強く持続的に取組を推進していく必要がある。

2 事業目的

「自らの命は自らが守る」認識のもと、自らの判断で避難行動をとる、という防災意識の高い社会の実現を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

① 逃げ遅れゼロに向けた避難対策の推進

- ・信州防災アプリの普及を促進するため、Web広告等の効果的なツールを活用した広報活動を実施
- ・【新】地域防災力の強化を図るため、信州大学等と連携し、避難所環境改善等に取り組むモデル地区を創出し、防災人材を育成
- ・【新】要配慮者の避難行動を促進するため、けん引式車いす補助装置を社会福祉施設等に貸し出し、日常や訓練等で活用
- ・市町村の災害対応力の向上を図るため、市町村長を対象とした実践的な研修や、市町村が抱える課題に助言を行うキャラバン隊による相談を実施

② 避難所の環境改善をはじめとした災害時への備えの強化

- ・避難所における精神的・肉体的な負担を軽減し、災害関連死を防ぐため、県・市町村・NPO団体等と連携し、避難所のTKB（トイレ・キッチン・ベッド）の環境改善を推進
- ・【新】災害時の物資調達等の対応力を強化するため、物流の基礎等を学ぶ研修会を開催するとともに、市町村と連携した物資拠点運営体制を構築

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①-1	防災アプリダウンロード数 (累計)	件	—	15,219	—	30,000	↗	50,000	△	R7までに100,000ダウンロード、1年間で20,000ダウンロードを目標とする。	
①-2	市町村減災トップセミナー参加 市町村数	市町村	中止	55	↗	62	↗	62	△	62市町村÷77市町村×0.8（R3市町村の参加割合）	
①-3	自主防災組織の組織率	%	94.8	95.1	↗	95.5	↗	96	△	過去5年の伸び率の平均値から設定	
②	「快適トイレ」補助件数 (累計)	件	—	36	↗	65	↗	90	△	R3～R5の3年間で、90基を導入	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（指標名）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
1-2①	災害に強い県づくりの推進	ハザードマップ等による身の回りの危険認識度	%		—		—		—	2027 (R9)	100
1-2①	災害に強い県づくりの推進	災害時要配慮者の「個別避難計画」を作成している市町村数(割合)	市町村 (%)					2022 (R4)	34 (44.2)	2028 (R10)	77 (100)

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)		30,279		30,279	25,078	5.0
	(要求)		30,951		30,951	25,750	
R4年度	0	21,289	0	21,289	4,731	5.0	
R3年度	0	41,576	0	41,576	40,062	40,571	5.0
予算要求からの 主な変更点	防災人材育成モデル地区形成事業について、事業内容を見直し、事務的な経費に係る負担金を減額						

事業番号	01 03 02	細事業一覧（令和5年度実施事業分）			□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検	
事業名	地域防災力充実事業		部局	危機管理部	課・室	危機管理防災課

細事業No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
1	逃げ遅れゼロプロジェクトの強化・推進事業	30,346 千円	8,932 千円	(予算案) 4,548 (要求) 4,548 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	信州防災アプリ普及拡大の取組	委託	「信州防災アプリ」の継続的な利活用、新規利用者の拡充に向け、広報活動を実施 広報実施回数等：TV番組2回、Web広告5か月間	
2	要配慮者の避難行動支援事業	直接	要配慮者の円滑な避難行動を促進するため、けん引式車いす補助装置を社会福祉施設等に貸し出し、日常や訓練等で活用 けん引式車いす補助装置の貸出：20件（県内10圏域）	

細事業No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
2	市町村との協働による災害対応力向上事業	1,008 千円	1,050 千円	(予算案) 1,377 (要求) 1,377 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	市町村減災トップセミナー開催	直接	市町村長を対象に、演習を取り入れた実践的な研修（トップセミナー）を実施 実施回数：1回（松本）	
2	キャラバン隊による相談体制の構築	直接	市町村の抱える個別の課題等を聞き取り、有識者やNPO等と連携して解決策を探っていくため、キャラバン隊を実施し、市町村の災害対応力の向上を図る 実施回数：3回以上（10広域で開催）	

細事業No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
3	防災人材育成モデル地区形成事業	0 千円	0 千円	(予算案) 13,388 (要求) 14,060 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	防災人材育成モデル地区形成	負担金	【新】信州大学等と連携し、災害デジタルアーカイブや信州防災アプリ等を活用して、避難所環境改善等に取り組むモデル地区を創出し、防災人材を育成 モデル地区2地区(2市町村)、小学校2校	
2	令和元年東日本台風災害等に係る災害アーカイブ展、復興・防災の取組に係る報告会	負担金	災害アーカイブ展、復興・防災の取組に係る報告会の実施により、災害の記録と記憶の伝承を推進するとともに、地域防災の取組を県民・防災関係者向けに広く発信 災害アーカイブ展(東北信地域:10日間)、報告会(東信地域:1回)	
3	地震防災対策・逃げ遅れゼロの啓発動画作成	負担金	「地震防災対策」及び「逃げ遅れゼロ」をテーマとした県民向け啓発動画を作成し、県ホームページ、県防災Twitter、Youtube等で公開 「地震防災対策」、「逃げ遅れゼロ」をテーマとした啓発動画（各5分）	

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
4	避難所 T K B 環境改善向上事業		4,985 千円	6,070 千円	(予算案) 4,418 (要求) 4,418 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)		
1	仮設トイレ快適環境整備事業	補助金	快適トイレの導入を促進するため、県内レンタル業者に対する補助を実施 R5快適トイレ導入目標数:25基		
2	NPO団体との連携による被災者支援事業	直接	キッチンカー事業者と行政等との平時からの関係づくりを推進するため、訓練・交流会を開催避難所の環境改善を加速化するため、市町村長向けのTKBトップセミナーを開催 交流会3地域で実施(長野、松本、伊那)、TKBトップセミナーの開催:1回(長野)		
3	避難所における良好な生活環境の研修・展示会	直接	避難所の暑さ・寒さを緩和する設備等を紹介・体験する展示会等を開催 避難所の環境改善に関する研修・体験展示会の実施:1回(長野)		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
5	防災指導員配置事業		2,613 千円	2,584 千円	(予算案) 2,617 (要求) 2,617 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)		
1	一般県民向け出前講座等の実施	直接	地域の防災力向上を図るため防災指導員を配置 講座開催数:60回、防災指導員配置人数:1名		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
6	災害対応用石油製品備蓄促進事業		1,624 千円	1,653 千円	(予算案) 1,682 (要求) 1,682 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)		
1	住民向け備蓄	負担金	災害時の住民向け燃料確保のため、非常用電源を備えた「住民拠点SS」に、常時、燃料を備蓄するための管理費を負担する 備蓄箇所数:58箇所		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
7	信州地震等災害保険・共済加入促進協議会負担金		500 千円	500 千円	(予算案) 450 (要求) 450 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)		
1	令和元年東日本台風・神城断層地震等企画記事への広告掲載	負担金	・新聞媒体への広告掲載、広報ながのけんへの加入促進記事掲載 ・WEB広告、ラジオスポット等による加入促進啓発 ・防災訓練などのイベントにブースを設置し、加入促進キャンペーン実施 新聞広告2回、Web広告1回を想定		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
8	自主防災組織リーダー研修会開催事業		500 千円	500 千円	(予算案) 500 (要求) 500 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)		
1	自主防災組織リーダー研修会の開催	直接	自主防災組織の活性化や組織づくりを推進できる人材の養成を図るため、自主防災組織リーダー研修会を開催 実施回数: 4回		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
9	災害時物資拠点の運営円滑化事業		0 千円	0 千円	(予算案) 1,299 (要求) 1,299 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)		
1	基本的物流知識の習得	直接	【新】県及び市町村職員を対象に、物流の基礎や災害時物流のポイント(スムーズな物資拠点運営のために必要な資機材・レイアウト等)を講習する 講習会、先進地視察、物資拠点運営訓練を各1回実施		
2	市町村と連携した物資拠点運営体制の構築	直接	【新】市町村で保有が少ない資機材(ローラーコンベア、カゴ台車等)を購入し、発災時の市町村の物資対応を支援 ローラーコンベア10本、カゴ台車10基の新規購入		
3	県松本防災備蓄倉庫の整備促進	直接	【新】当該倉庫環境の応急的対処を実施し、資機材の運用を円滑にする 段差解消のための乗り上げブロック5個購入		